

都市再生整備計画 事後評価シート

とねせいぶちく
利根西部地区

平成25年1月
いばらきけん とねまち
茨城県利根町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	利根町	地区名	利根西部地区			面積	2,490ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	83.2	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(スーパー堤防道路新設事業、八幡台道路維持事業、布川台道路維持事業)							
		提案事業	地域創造支援事業(スーパー堤防給水管敷設事業)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	まちづくり活動推進事業(ボランティア団体等支援事業)	-			高齢者が自主的に見守り隊等を組織し活動を始めており、その活動成果を見極めるため実施を見送った。		本指標では災害や交通に関する総合的な安全性満足度としていことから、影響しないと考えられる。	
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(羽根野台道路修繕事業、羽根野道路修繕事業、羽中道路舗装事業、中谷・福木道路改良事業)	-			団地内の老朽化した道路整備により、団地内の安全性向上を図るとともに、町道の未改良区間の整備により、安全性の確保を図るため事業を追加した。		当初設定した指標1、2に関係することから、指標は同様とする。	
		提案事業	事後評価業務	-			事業効果を把握するため追加した。		事業効果を把握する業務であることから、指標には影響しないと考えられる。	
交付期間の変更	当初変更	平成20年度～平成24年度 平成 年度～平成 年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし				

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地震・災害時の安全性満足度	%	4.9	H19	8.0	H24	-	7.8	○	あり なし	事後評価時点では、目標値に僅かに達していないが、幹線機能を有する町道の整備や、国が実施しているスーパー堤防上の町道の新設により、水害からの安全性や避難路の確保が図られると考えられる。	平成25年3月
指標2	交通安全・防犯対策の満足度	%	5.9	H19	8.0	H24	-	7.4	△	あり なし	狭間で蓋の設置されていない団地内町道等の改良により、安全で快適な道路空間の整備が図られ、歩行者の安全性が向上したことにより、満足度は向上しているものの、目標値に達していない。	平成25年3月
指標3												

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	道路改良率	%	31.0	H19	/	/	-	49.8	/	/	幹線機能を有する町道の整備により歩道が設置され、歩行者の安全性が向上するとともに、災害時の避難路として地域住民の安全性の向上にも寄与すると考えられる。	平成25年3月
その他の数値指標2					/	/			/	/		

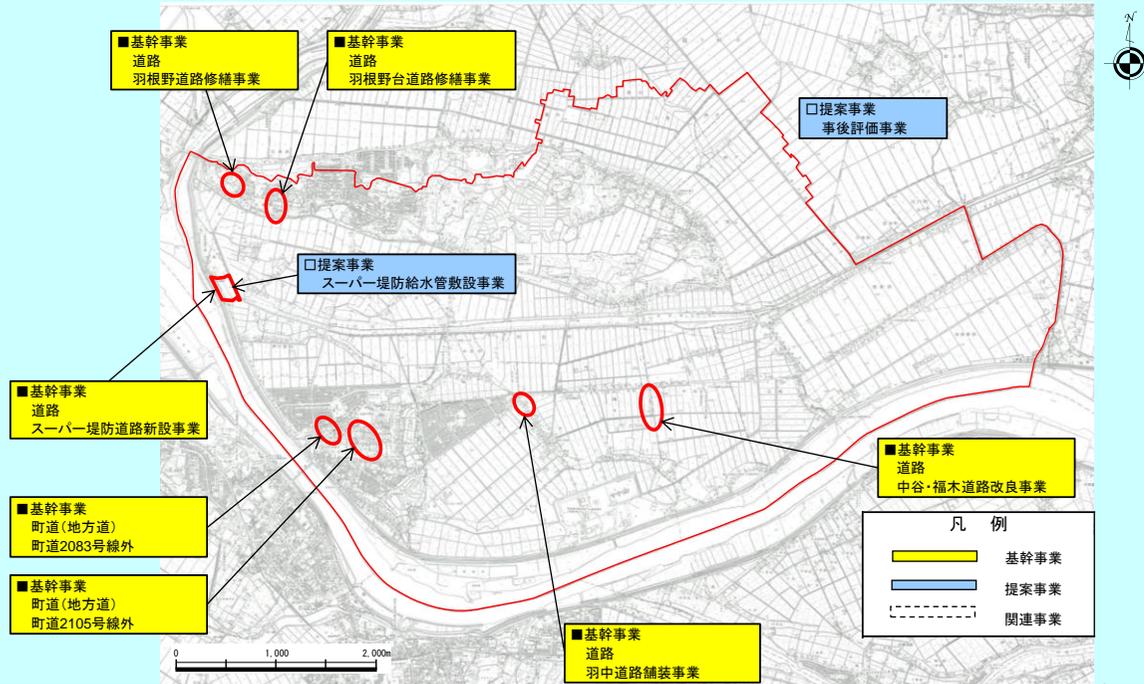
4) 定性的な効果発現状況
 ・団地内ヒアリングでは、これまで危険性が指摘されてきた道路側溝の整備や未舗装道路の整備等により、交通の安全性が向上するとともに、地域の居住環境の向上にもつながるという意向が示され、指標2に関する改善が確認された。

5) 実施過程の評価		実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた	-		
	-			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-		
	-			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		
住民参加プロセス	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた	-		
	-			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-		
	-			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		
持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた	-		
	-			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-		
	-			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		

様式2-2 地区の概要

利根西部地区(茨城県北相馬郡利根町) 整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
安全で快適な住みよいまちづくりを目指す 1 災害に強いまちづくり 2 交通安全・防犯の充実したまちづくり	地震・震災時の安全性満足度	単位：%	4.9	H19	8.0	H24	7.8	H23
	交通安全・防犯対策の満足度	単位：%	5.9	H19	8.0	H24	7.4	H23
	道路改良率	単位：%	31.0	H19	—	—	49.8	H24
	住宅地区内の通行の安全性向上に対する評価	単位：%	—	—	—	—	66.7	H24



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・国が実施しているスーパー堤防事業については、当初計画の約半分の事業が終了し、スーパー堤防上の道路や給水管の整備が終了し住宅地が形成された。今後は、事業仕分けにより凍結された残事業の動向を鑑みながら必要な事業を講じる必要がある。 ・住宅地内では、蓋付道路側溝への更新や舗装の更新が進み、住宅地内の安全性、快適性が向上した。本町内では未改修の地域が残っていることから、今後も計画的な施設の更新を行うことが必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・国が実施しているスーパー堤防については、当該事業に関する動向を考慮しながら、町の事業について必要な措置を検討する。 ・住宅地内では、施設の老朽化とともに高齢化等が進み、安全で快適な公共施設への更新が必要になるとともに、住宅地の魅力向上のための公共空間の整備を検討する。 ・地震・災害時の安全性、交通安全・防犯対策の満足度は、向上しつつあるが、今後も防災や安全・安心なまちづくりに向けた啓発を継続する。